

球野宮神
 勝決準
 明治きよ

光星鳥取城北と激突

はつらつと打撃、守備練習



練習で仲井宗基監督の話を聞く光星ナイン＝成立学園高グラウンド



シートノックで守備の連係を確認する光星ナイン

東京・神宮球場で開かれ、
 ている第42回明治神宮野球
 大会高校の部で、東北地区
 代表の光星はきよ26日、
 準決勝（8・30試合開始）
 で中国地区代表の鳥取城北
 と対戦する。光星ナインは
 25日、埼玉県久喜市の成立
 学園高グラウンドで約2時
 間にわたって練習し、フリ
 が出たこともあり、シート
 準々決勝では守りにミス
 した。

ノックでは基本姿勢から再
 確認していた。
 大会ではこの日、準々決
 勝残り2試合が行われ、光
 星の相手は智弁学園（近畿
 地区代表）を破った鳥取城
 北（中国地区代表）に決ま
 った。
 仲井宗基監督は「鳥取城
 北はいい投手がいると聞い
 ている。来春のセンバツに
 向け、真剣勝負できるのは
 チームの財産になる。全方
 で立ち向かう」と話した。
 田村龍弘主将は「1勝で
 きたことにはほっとしてい
 る。もう4校しか残ってい
 ない。今季最後の大会なの
 で、より多く試合をした
 い」と意気込んでいた。

野球公式戦初 1死満塁タイブレーク

光星・仲井監督「普通の延長なら負け」

慣れない戦い、対応苦慮

（北信越）鳥取城北（中国）な
 ど、準々決勝までの6試合のうち
 3試合で実施された。
 初戦をタイブレークで制した北
 照（北海道）の河上監督は「どう
 したらいいのか自分の考えもはっ
 きりしていなかった」と明かす。
 他のチームも状況は同じで、思い
 もよまないミスが出るなど、スコ
 アが開れる試合が目立っている。
 象徴的なのは神村学園（九州）
 光星の準々決勝だ。八回に失策
 も絡んで4点差を追い付かれた光
 星の仲井監督は「普通の延長で、
 この流れなら恐らく負けてい
 た。延長十回、投手が1球目を
 投げる前にポークを宣告されるな
 どして2点を勝ち越されたが、そ
 の裏に相手が失策。逆転サヨナラ
 満塁本塁打で決着した。
 大学では別の大会で実施済み。
 明大（東京六大学）の善波監督は
 「失点しないように守ることが大
 事。そのための練習をした」と話
 す。だが、いきなり背負う1死満
 塁のピンチをしのぐ技術と精神力
 を高校生に求めるのは酷にも映
 る。